

こま

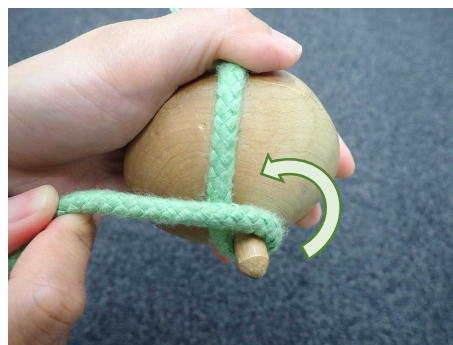
漢字では「独楽」と書きます。日本では平安時代には、こま回しをして遊んでいたようです。
江戸時代になると、様々なタイプのこまが作られて多くの人々がこまに熱中しました。

(参考：日本玩具博物館ホームページ)

●遊び方 (投げ方②)



1. ひものはしを下にして、上の芯に1回しっかりと巻きつけます。



2. 下の芯の真ん中に反時計回りで1回しっかりと巻きます。



3. 2回目はこま本体のそばでしっかりと巻きます。



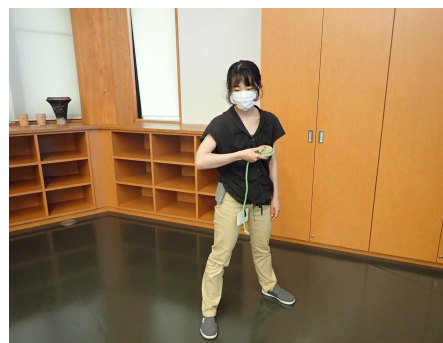
4. もう1回巻きます。この始めの3回をしっかりと巻くのがコツ！



5. あとはゆるやかにこまに沿わせて巻いていきます。



6. ひもを薬指と小指にはさんで、写真のようにこまをしっかりと持ったら準備オーケー！



7. こまを胸の近くに構えたら、ななめ下へ投げ、すばやくひもを引きます。回ったかな？

左利きさんは説明の逆をやってみてね！



こま

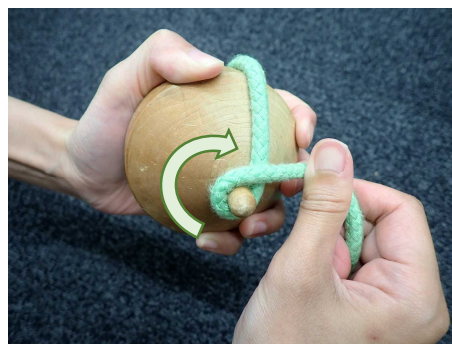
軸となる芯を中心に、本体が回転するおもちゃ。古くは呪術的な意味があったと考えられています。
世界各地でみられ、古代エジプトの遺跡からも見つかっています…！

さんこう おもちゃはくぶつかん
(参考：日本玩具博物館ホームページ)

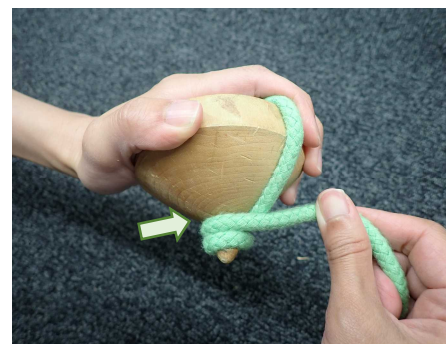
●遊び方 (投げ方①)



1. ひものはしを下にして、上の芯に1回しっかりと巻きつけます。



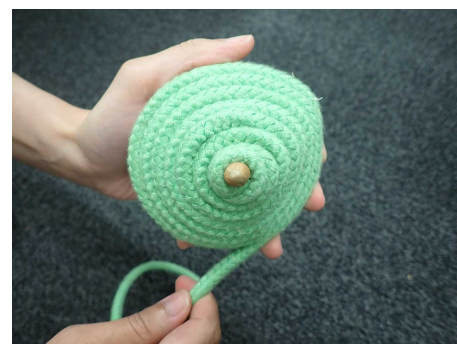
2. 下の芯の真ん中に時計回りで1回しっかりと巻きます。



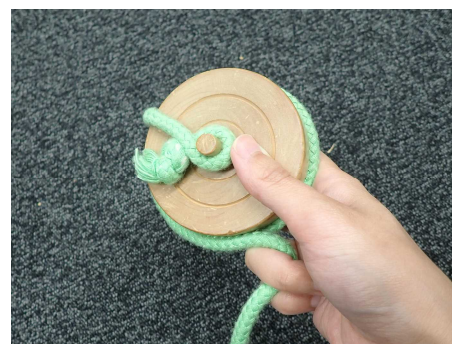
3. 2 回目はこちら本体のそばでしっかりと巻きます。



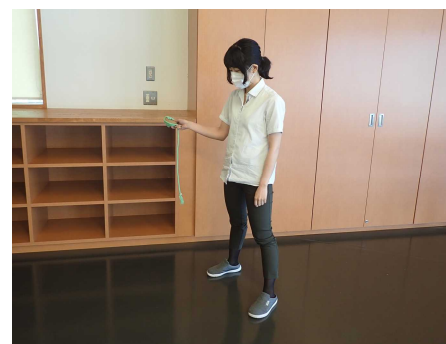
4. もう1回巻きます。この始めの3回をしっかりと巻くのがコツ！



5. あとはゆるやかにこまに沿わせて巻いていきます。



6. ひもを薬指と小指にはさんで、写真のようにこまをしっかりと持ったら準備オーケー！



7. こまを持った腕を引き上げた後、ななめ下へ投げ、すばやくひもを引きます。回ったかな？

きき せつめい
左利きさんは説明の逆をやってみてね！

